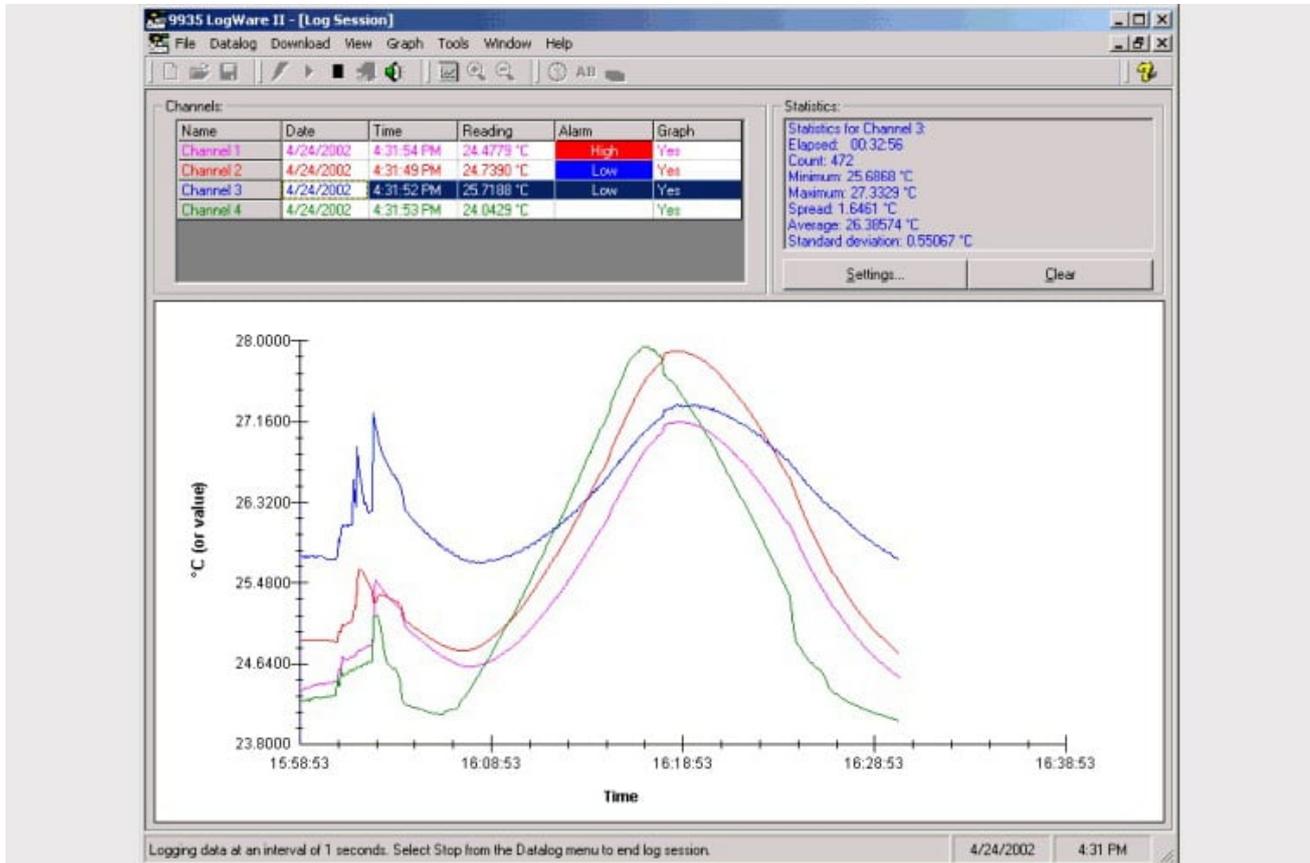


9935 LogWare II – Temperature Calibration Software



主な機能

- フルーク・キャリブレーションのマルチチャンネル温度計をリアルタイム・データ・ロガーに転換。
- リアルタイムのデータ収集、統計、カスタマイズ可能なグラフ。
- 開始/終了時刻とサンプル間隔を選択。
- ユーザー定義のカスタマイズ可能なアラーム・イベント。
- シリアル・ポートまたは IR ポート経由で温度計のログやメモリからデータをダウンロード。
- プローブ係数と温度計の設定を読み取り/書き込み。

製品概要: 9935 LogWare II – Temperature Calibration Software

LogWare II を使用すると、データを PC にグラフィカルな形式で取得し、それをテキスト・ファイルとして保存することができます。LogWare はまた、各データ・セットの統計処理を自動的に実行します。

LogWare II は温度データの収集のために設計されました。また、抵抗値、電圧、比率、その他のデータも同様に収集できます。アラーム条件の設定、開始時間遅延プログラム、一定件数のデータや一定時間内に収録したデータの保存、データ収集間隔（1 秒～60 時間）のプログラムを実行するほか、必要なデータを必要な形で記録させることができます。

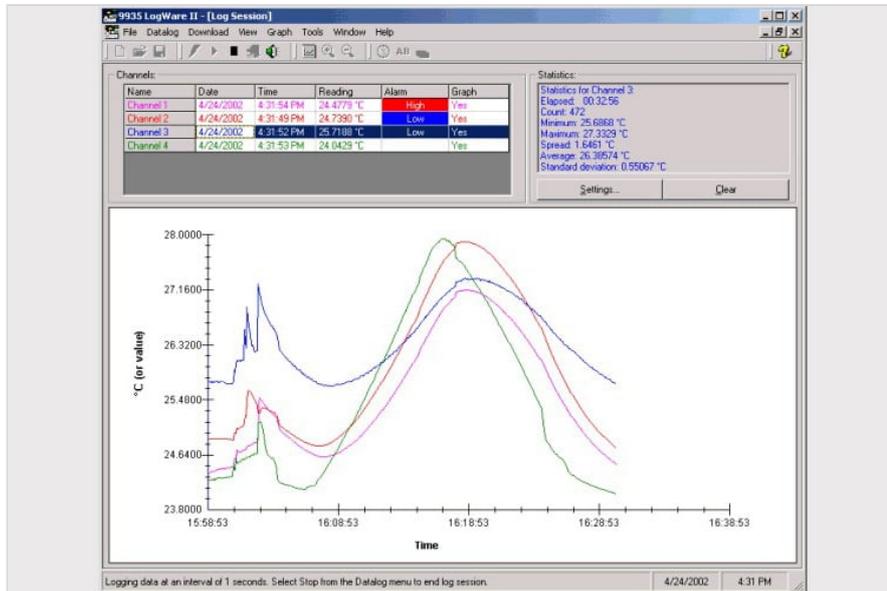
ログ・セッション中も、PC 上のファイルにデータ点が保存されていくのと並行して、時間/温度トレンド・グラフで任意または全てのデータ・セットのデータを表示できます。グラフをプリンターに出力したり、スプレッドシートからテスト・ポイントを表示できるほか、ログの完了後に関連のあるログ統計を確認することも可能です。LogWare II を使用すると、一度に 96 本のプローブからのデータを収集し、観測することができます。

フリーザー、オープン、チャンバー、その他、温度を記録する必要のある場所からの読み値を保存して PC にダウンロードすれば（標準のシリアル・ケーブルまたは赤外線 dongle 経由で）、LogWare II がそれぞれのログ・セッションを個別のデータ・セットに分けます。スプレッドシートにテキスト・ファイルを読み込んだり、データ点とログ・セッションとの対応を識別する必要はありません。これらは LogWare II がお客様に代わって実行します。

また、LogWare II ではリードアウトの構成を変更するための機能を備えています。プローブ係数のプログラミング、計器への校正データの書き込み、パスワードで保護されたパラメーターの設定、その他リードアウト固有のツールへのアクセスといったものを全て、手元の PC から実行できます。

LogWare II でリードアウトを最大限に活用してください。

モデル



9935-S

LogWare II ソフトウェア、マルチチャンネル、シングル・ユーザー

9935-M

LogWare II、マルチチャンネル、マルチ・ユーザー

Fluke. 動き続ける世界を支える

Fluke Corporation
PO Box 9090, Everett, WA 98206 U.S.A./div>
お問い合わせ先: ©2025 Fluke
フルーク Corporation.
特約店営業部 仕様は、予告なく変更され
TEL : 03-6714-3114 る場合があります。
www.fluke.com/jp/ 04/2025

世界で最も信頼されている
ツール